



あなたの大きな「あんしん」

=信頼のJAバンク=

JA埼玉ひびきのの現況 (上半期 DISCLOSURE 2009.9)

当JAの平成21年4月1日
～平成21年9月30日
の経営の概況について
ご案内いたします。

JAバンク

埼玉ひびきの農業協同組合



組合員と地域のみなさまとともに !!

「JA 埼玉ひびきの」は地域の一員として、「小さな活動から」を合言葉に地域の行事に参加し、また自らさまざまな活動を展開しています。

食育補助教材本を贈呈！

4月3日当JAの鯨井組合長は、食農教育補助教材本を管内の小学校5年生全員に贈呈するため、各市町（本庄市・上里町・美里町・神川町）の教育長室を訪れました。

鯨井組合長は「昔は自然に学べた食育も、今の時代では教育に取り入れなければ学べなくなっている。この補助教材本を活用し、子供たちが命の源である農業への理解を深め、心の豊かさにつなげてもらいたい」と補助教材本の意義を説明し贈呈したところ、各市町の教育長は食農教育に前向きで、今回の贈呈を大変喜んでいただきました。

第11回ひびきの杯少年野球大会

11回JA埼玉ひびきの杯兼第28回児玉郡市少年野球連盟春季大会は13チーム213名の選手が参加し、4月5日本庄市民球場で開幕し熱戦の火ぶたが切られました。

試合はA・Bブロックに分かれて総当りのリーグ戦で行われ、29日には各ブロックで勝ち抜いた4チームの決勝戦が行われました。

優勝チームには、JA埼玉ひびきの共済友の会会長から優勝カップと賞状が授与されました。

この大会は、JA埼玉ひびきの杯の趣旨である「親と子のふれあいと参加者相互の親睦を深める活動」の一環として毎年開催しています。

連合女性部総会

埼玉ひびきの連合女性部は5月15日、児玉支店において第11回通常総会を開催しました。今年度の活動報告・収支決算書、および平成21年度の活動計画並びに収支予算書、役員改選議案が上程され、各議案とも慎重に審議され可決承認され、新役員も選任されました。

また、本年度から美里地区女性部が発足するなど、JA連合女性部のより一層の活躍が期待されています。

総会終了後、JA女性組織共同購入運動の対象品目である米粉を使った料理のレシピ紹介と試食会が行われました。

チャリティー募金を管内市町へ寄贈

6月3日JA埼玉ひびきの杯ゴルフ大会（年金・共済友の会主催）が開催され、会場内にはチャリティーボックスが設置されました。

多くの参加者のご協力により多額の募金が集まったため、「多くの方々の善意を地域の福祉活動に有効に役立ててもらいたい」と鯨井組合長が各市町を訪れ、それぞれの首長に直接手渡しました。

農業電子図書館を開設

組合員の営農支援の一つとして、農産物の病気や害虫などの登録農薬を簡単に検索できる農業電子図書館を各営農経済センターに設置いたしました。

農産物の病気や害虫の解説と写真データが数多く登録されており、それに対応する農薬等を検索することができます。

調べたい項目の画面を触れながら操作する「タッチパネル式」ですので、パソコンの苦手な方も簡単に操作することができ、どなたでもお気軽にご利用いただけます。

食農教育の一環として「各地で田植え」

本庄市立中央小学校・旭小学校や神川町立丹荘小学校、本庄市児玉町の東小平子ども会等の各地で田植え作業体験が行われました。

これは食農教育の一環として毎年行われているもので、子供たちは裸足で圃場に入り、初めての泥の感触に思うように足が動かず、中には尻もちをついたりして悪戦苦闘をしていました。

秋になったら収穫体験をすることになっています。

みんなで楽しくゲームに熱中！「高齢者ふれあいの集い」

J A美里支店ではボランティアスタッフと一緒に、年4～5回「高齢者ふれあいの集い」を開催しています。

参加者はまず血圧測定や簡単な問診を受けた後、ストラックアウトやハーモニカの演奏などのレクリエーションを楽しみます。

昼食には、管内の米や野菜をふんだんに使用したスタッフの手作り弁当が配られ、おいしくいただきます。

「ちゃぐりんフェスタ」を開催

「ちゃぐりん」とは[Child][Agriculture][Green]を組み合わせた造語で、J Aグループの食農教育をすすめる子ども雑誌です。

J Aではこの「ちゃぐりん」を使った読書会・ゲーム・J A探検などを体験する「ちゃぐりんフェスタ」を実施していますが、3年目を迎えた今年は全支店で開催いたしました。

それぞれの支店で、それぞれの地域特性を生かした企画が行われ、参加者はたいへん講評をいただきました。

▲ 安心 (その1)

経営の状況です。

JA 埼玉ひびきのでは、みなさまに安心してご利用いただけるよう、厳正かつ透明な決算を実施しています。

(単位：百万円)

項 目	H 20.9 月期	H21.3 月期	H 21.9 月期
事業総利益	1,240	2,411	1,246
事業管理費	1,022	2,172	1,070
事業利益	218	238	176
経常利益	294	351	257
当期剰余金	255	286	187

▲ 安心 (その2)

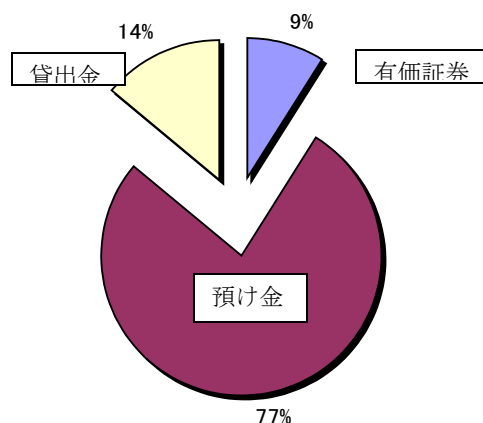
お預かりした貯金は 1,209 億円です。

JA 埼玉ひびきのは、多くのみなさまより信頼をいただき、貯金は 1,209 億円です。この大切な財産を安全性と流動性を重視して資金運用しております。

H 21.9 月期の JA 埼玉ひびきのはの運用資産構成

(単位：百万円)

種 類	H 20.9 月期	H 21.3 月期	H21.9 月期
貯 金	121,605	122,270	120,955
貸 出 金	16,176	16,584	17,211
預 け 金	97,281	97,425	95,170
有価証券	10,758	10,971	10,906

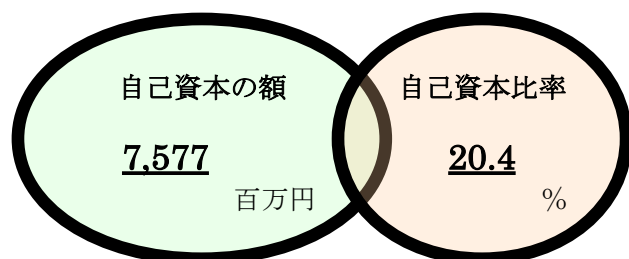


▲ 安心 (その3)

経営のバロメーター … 自己資本比率は充分です。

JA 埼玉ひびきのは、国内基準 (4%) の 5 倍以上で、国際基準 (8%) を上回る 20.4% の自己資本比率と、26 億円の内部留保 (特別積立金) で、安定した経営を維持しています。

H21.9 月期の自己資本の状況



(単位：百万円、%)

項 目	H 21.3 月期	H 21.9 月期
自己資本の額	7,346	7,577
自己資本比率	20.42	20.41

注) H21.9 月期の計数は、9 月末の仮決算結果に基づき、農業協同組合法第 11 条の 2 に準拠して算出したものです。

但し、半期利益については、外部流出予定額を控除せずに全額を自己資本の額に加えています。

▲ 安心 (その4)

不良債権に対する備えは充分です。

J A埼玉ひびきのは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位：百万円、%)

債権区分と保全状況		H21.3 月期	H21.9 月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		142	120
危険債権		602	645
要管理債権		14	32
小 計 (A)		758	797
保 全 状 況	上記債権の担保・保証の額 (B)	518	572
	上記債権に対する貸倒引当金の額 (C)	240	225
	上記債権に対する保全率 (B+C) / (A)	100.0	100.0
正常債権		15,446	16,434
合 計		16,608	17,231

注) H21.9 月期の計数は、9 月末の仮決算において 3 月期決算と同一に当 JA の資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。

【用語の説明】

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 危険債権・・・債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 要管理債権
 - (1) 3ヶ月以上延滞債権＝元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更生債権等及び危険債権を除いた貸出債権です。
 - (2) 貸出条件緩和債権＝経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更生債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。



安心 (その5)

JAバンク・セーフティネットの仕組み

JA貯金は、2つの制度で守られています。

貯金保険制度

貯金者を保護するための
国の公的な制度

JAバンクシステム

JAバンク独自の

貯金保険制度

貯金者を保護するための国の公的な制度が「貯金保険制度」です。JA・信連・農林中金などが加入しており、一般の銀行や信金などが加入している「預金保険制度」と同様の範囲で保護されます。

JAバンク支援基金等

全国のJAバンクの拠出により設置された「JAバンク支援資金」等を活用し、個々のJAによる経営健全性維持のための取組みに必要な支援（資本注入など）を行います。

また、万一緊急の事態に陥ったJAの貸付や経営が困難となったJAへの資金援助なども国の制度である貯金保険制度と連携して行います。

J A 埼玉ひびきの

身近で便利 J A の店舗

店 舗 名	住 所	電 話 番 号
本 店	本庄市若泉 1 - 1 1 - 2 7	0495 - 24 - 7711
本 庄 北 支 店	本庄市 6 4 2 - 2	0495 - 24 - 1525
本 庄 南 支 店	本庄市北掘 2 4 9 - 1	0495 - 24 - 1535
上 里 支 店	上里町大字七本木 1 6 5 - 3	0495 - 33 - 0549
美 里 支 店	美里町大字木部 3 2 7	0495 - 76 - 3131
児 玉 支 店	本庄市児玉町吉田林 4 8 - 1	0495 - 72 - 1244
神 川 支 店	神川町大字関口 8 3 - 1	0495 - 77 - 2401

2009 上半期 DISCLOSURE 平成 21 年 12 月製作
J A 埼玉ひびきの (埼玉ひびきの農業協同組合)
〒367 - 0055 本庄市若泉 1-11-27 企画総務課
Tel 0495 - 24 - 7711 (代表)
ホームページ <http://www.ja-hibikino.jp/>
E-Mail soumu@hbki.st-ja.or.jp